

静岡地裁の再審開始決定で二〇一四年三月に釈放された袴田巖さん(七九)の写真⑤が九日、自身の日常を追ったドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」を、撮影の中心的な舞台にもなった浜松市内の自宅で、初めて鑑賞した。

姉の秀子さん(八二)や支援者、金聖雄監督(五三)らが集まる中、散歩から帰った巖さんは百十九分間の映画を中座することなく見た。片手でうちわをあおぎ、ほとんど表情は変えなかった。

袴田さん 自身の映画を鑑賞

来月東京で一般公開



巖さんには長年自由を奪われたことによる拘禁反応があり、鑑賞後に感想を求められると、「てめえ(自分の)顔じゃないからね。全部うそ。私と関係ないもんだ」などと言って笑わせた。周囲は「照れくさいんだろう」と推し量った。

一般公開は二月二十七日からポレポレ東中野(東京都)で、三月十九日から静岡シネ・ギャラリー(静岡市)とシネマイーラ(浜松市)、シネマスコーレ(名古屋市)で始まる。